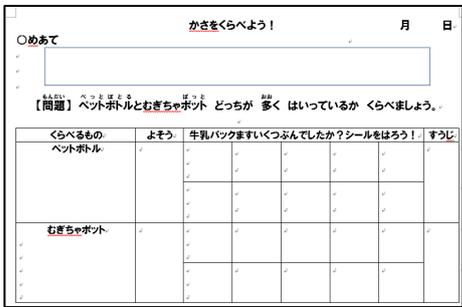


かさの比較において任意単位で比べることができるようにするための指導 「牛乳パックます・かさくらべワークシート」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校・中学部1学年（通常の学級）	
	障がい名等	知的障がい	
授業について (教材・教具を使用した授業や指導場面)	教科名等	数学科	
	単元(題材)名	「かさを量ってくらべてみよう」	
教材・教具・支援機器について	単元(題材)の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 かさとは何かを知る。 2 かさを比べ、量の多少を考える。(間接比較) 3 かさを比べ、量の多少を考える。(任意単位) 4 色水の水位が同じで種類の異なる容器を比較して、量の多少を比べる。 5 いろいろな物のかさを比べる。 	
	教材・教具・支援機器	<p>【①牛乳パックます】</p>  <p>・200mlのところに線を書いておき、そこまで水を注ぐ。ますが何個分になるか、任意単位によるかさくらべをする。</p>	<p>【②ワークシート】</p>  <p>・「牛乳パックます」の数に応じて、ワークシートに丸シールを貼る。</p>
ねらい・工夫点等		<ol style="list-style-type: none"> ① かさを身近に感じることができるよう、生活に密着したものを利用することで、かさに対する興味や関心を高めることができた。ペットボトルと麦茶ポットのどちらがより多く水が入るか、2チームに分かれて予想して取り組んだ。同じ容器で量ることがルールと話して、「牛乳パックます」を提示するとゲーム感覚で任意単位によるかさくらべの活動に取り組むことができた。 ② ワークシートに「牛乳パックます」の数に応じて丸シールを貼ることで、数を数えやすくした。また、次時の授業で復習をする際にも活用することができたようにした。 	
	材料・作成方法等	<p>材料は給食で出てくる牛乳パックを再利用した。計量カップで水200mlを量り、牛乳パックに注ぎ、200mlのところにマジックで内側に線を引いた。また、牛乳パックの口の部分を切り、生徒が水を注ぎやすいように工夫した。</p>	
子どもの変容や評価	<p>給食の牛乳を自分からコップに注いで、かさを確認して、「思っていたより多く感じる。」や「少なく感じる。」と述べていたり、「200(ml)」って書いてある。」と話したりするなど、かさに対する興味が高くなった。また、普遍単位に自ら着目して、量の多少を予想するなどの姿が見られた。</p> <p>「牛乳パックます」を使用する際の課題は、目印である牛乳パック内側の線の太さが細かったり、太かったりするため正確に200mlを量ることが難しいことである。普遍単位を学習する場合は、より正確に量ることができるような改善が必要だと感じた。</p>		